

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2019-20年度
国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは
世界をつなぐ

「世界を変える行動人」

5月は「青少年奉仕月間」です。

地区テーマ 「参加してロータリー活動を楽しもう」

国際ロータリー第2640地区 ガバナー 中野 均

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331 和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640 FAX (073) 426-2660

URL <http://rid2640g.com/nakano/>



ロータリーの重点分野



今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」
2020年ロータリー
バーチャル国際大会

2020年6月20～26日



国際ロータリーの
バーチャルイベント(参加無料)
多くのご参加を!

※ 詳しい情報は「My ROTARY」掲載予定

目次

RI会長 5月のメッセージ	1
ガバナー 5月のメッセージ	2
ロータリーの青少年奉仕	3
「青少年奉仕月間によせて」 地区特別幹事 丸山 信仁	4～5
新型コロナウイルス、ポリオ根絶活動への影響に関するロータリーの声明	6
ロータリークラブが新型コロナウイルスとの闘いを支援	7
国際4クラブの新型コロナウイルスに対する 合同声明	8
ロータリー財団 地区補助金の申請について	10
『意義ある奉仕賞』推薦のお願い	11
ロータリーの友事務所からのお知らせ	12
【地区活動報告】	
第5回ガバナー補佐・幹事予定者合同会議	13
【クラブ活動報告】	
新型コロナウイルスの影響で血液不足、献血活動 田辺はまゆうRC	14
ハイライトよねやま No.241	15～16
コーディネーターNEWS 2020年5月号	17
新会員の紹介	18
会員数報告(2020年3月)	19
My ROTARY登録状況(2020年4月)	20
5月の行事予定	21



行動計画 私たちは「世界を変える行動人」として、強い目的意識を共有しています。今後5年間の計画は、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」です。

RI会長 5月のメッセージ

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

「適応力を高める」というのは新しいロータリー行動計画で挙げられた目標のひとつです。今年はこの能力が実に試される年となっているのではないのでしょうか。

3月に私は妻のガイとともにジンバブエ、トルコ、ほか8カ国を30日間で訪問しました。ジンバブエでの医療プログラムとロンドンでのコモンウェルスウィークに参加したのち、11日目にはスイスとリヒテンシュタインに向かいました。



ロンドンでパキスタン高等弁務官事務所での晩餐会に出席した際に、この日程ではすべての予定地をまわりきることはできないと聞きました。それで、チューリッヒではなくエバンストンの国際ロータリー本部に戻りました。

3月上旬に、世界中で新型コロナウイルスの問題が深刻になっていきました。現地当局の助言に従い、パリとローマでの国連会長主催会議はキャンセルに。その後ほどなくしてWHOが世界的なパンデミックを宣言。ロータリーは重要な決断に際して当局と協議しました。すべてのロータリー地区とクラブに、今後方針が変更されるまで対面でのクラブ会合を控え、ネット上で会合を実施するように通知しました。迅速に対応してくださった地区とクラブに感謝いたします。

ロータリー理事会は初のネット上会合を開き、2020年ロータリー国際大会の実施を中止するという何よりも難しい決定を下しました。出席を計画していた20,000人を超える参加者の皆さまと同じく、私も非常に残念です。参加者のご家族、友人、同僚、そしてホノルル市民の健康と安全を守るために下した決定です。正しい決断だったと信じています。

最高のロータリー国際大会になるはずだったホノルル大会を企画してくれた2020年ホノルル国際大会委員会、ホスト組織委員会、2020ホノルル国際大会推進委員会に感謝します。この大会のために尽力してくださいました。

今号の『The Rotarian』は国際大会中止の決定が下される中でリリースされましたが、ほかにも多くのロータリー全体に関わる決定がまだ議論されています。『The Rotarian』誌やロータリーの地域雑誌、そしてソーシャルメディアのアカウントで今後発信される続報をお待ちください。

本ロータリー年度の始めに、新しい行動計画がすべてのロータリアンとローターアクターにとって重要であることをお伝えしました。今、必要に迫られて、行動計画を実行に移します。それには、国際大会などをバーチャルなイベントとして開催する可能性も含まれます。詳しくは近日お伝えします。

ガバナー 5月のメッセージ

ガバナー 中野 均



「青少年奉仕月間」によせて

陽春の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げますとともに、新型コロナウイルスに感染された方々にお見舞い申し上げます。少しでも早く回復されますことをお祈り申し上げます。

地区において、各委員会事業の総仕上げ期ではありますが、新型コロナウイルス収束が見られない中、計画している全ての事業が残念ながら中止又は延期せざるを得なくなりました。また、各クラブにおきまして例会が開催出来ない状況でクラブ運営に苦慮されておられると思いますが、今年度クラブにとって良い状態で終われるよう重ねてお祈り申し上げます。

5月は、ロータリー青少年奉仕月間です。ロータリーでは、30歳までの若い人すべてを含む青少年の多大なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、少年の将来への準備をさせることを目的としています。

この世代のためのRI常設プログラムには、インターアクトクラブ(12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです)、ローターアクトクラブ(18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです)、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)(14歳から30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道德基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事を目的としています)そして、ロータリー青少年交換(短期と長期、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を共にし、学校に通います)があります。

年齢30歳までの多数の青少年が、将来のリーダーとなるために必要なスキルを身につけるためにロータリーの様々なプログラムに参加しています。

ロータリアンは、自ら行動を起こすことの大切さを認識しています。未来を担う青少年に奉仕活動を通じて積極的に関わって頂く機会として捉えて頂ければ幸いです。

青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。



18～30歳の人たちが集まるローターアクトクラブでは、ローターアクト会員が、地元のリーダーと交わり、リーダーシップや職業スキルを磨き、楽しみながらボランティア活動をしています。



ロータリークラブは、奉仕を通じて12～18歳の若きリーダーの活力を引き出し、インターアクトクラブへの支援によって、責任感のある世界市民を育てています。



少年指導者養成プログラム (RYLA) は、ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨きます。



ロータリークラブは、100カ国以上で、15～19歳の学生を対象にした交換留学を実施しています。

「青少年奉仕月間によせて」

ロータリーの5大奉仕の一つ青少年奉仕は、今年度大きな組織変更がありました。

青少年交換は、国際奉仕委員会に、青少年ライラ・インターアクト・ローターアクトは社会奉仕委員会に統合され、国際奉仕委員長・社会奉仕委員長の役割が大きくなりました。

2013～14年度から始まった、青少年奉仕委員会は初代委員長を辻PG、2代目は私が、3代目は中西秀文君(海南東RC)が2年間、4代目は、私が岡本ガバナー年度と榎畑ガバナー年度の委員長を務めさせていただきました。

私は、御坊RCクラブに昭和61年に入会以来ローターアクトと共に、ロータリーを楽しんできました。今期の「青少年奉仕月間によせて」は、各委員長に、委員会の状況をまとめて頂きましたのでご紹介します。

まず初めは、青少年交換委員会、豊岡 敬君(ガバナーノミニー)です。今期就任され、7名の長期交換学生を送り出されました。

青少年交換プログラム

年初に中国武漢から始まった新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大は、世界に広がり、パンデミックとなってしまいました。国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)から最初にCOVID-19に関する声明が出されたのは、2月25日のことで、交換学生を送り出している地区から、2640地区内の状況に関する問い合わせも、この頃から始まりました。RIJYEMが受入れ学生の全員帰国の指針を出したのが3月9日で、派遣学生全員の日本への帰国指針が出たのが、3月12日でした。2640地区は、ドイツ、インドネシア、アメリカ、カナダに学生を派遣していたのですが、割と早急に全員の帰国を果たすことができました。しかしながら、国際航空便が激減する最中で、イタリアや南米に学生を派遣している地区は、学生の帰国に大変ご苦労をされたと聞いていますし、スイスやタイからは、未だ帰国できない交換学生もいるみたいです。現在、多くの欧米諸国が外務省の感染危険レベル3とされていますし、それ以外の全世界がレベル2となっています。また、国内での感染拡大も続いており、緊急事態宣言が出されています。このような状況の中で、2640地区は2020-2021年度の青少年交換を中止します。私自身は、今回と似た経験を2011年の東日本大震災後の福島第一原発の事故当時にしており、地区内の受入れ学生を一旦全員帰国させたことがあります。しかし、今回のCOVID-19は世界規模で広がっており、終息が予測できません。早く平穏な日常が戻ってくることを切に願っております。

青少年関連担当 地区特別幹事 丸山 信仁

次に、ローターアクト委員会は、委員長3期目の岸和田RC所属 永野 祥司 君です。

地区ローターアクト委員会ではローターアクトメンバーと共に様々な活動を行っております。通年行事としてはリーダーシップフォーラム、地区連絡協議会、三役研修会などがあります。また奉仕という共通の活動を通してメンバー同士の交流や友情を深め、次世代を担うリーダーの育成に力を入れております。

今回1月19日(日)に当クラブの岸和田RACが主体となり、地区連絡協議会を行いました。内容としまして、今年度の上半期を過ぎての初行事ということもあり、地区からの活動報告並びに8クラブと計9名で活動報告を行いました。地区行事以外のクラブ間での共同行事がないのでお互いがクラブの活動内容を知る良い機会になったと思います。



また、報告後のプログラムとして、AED体験を行いました。出席者の多くの方が学んだことがあるとの声が出ておりましたが、再度命の大切さを全員再認識することができました。誰かに何かをして助けてあげたいと思う気持ちが一番大切ですが、より多くの知識を持つことで、より効果的な助けができるものと全員で周知できました。

今回の行事も中野ガバナーはじめ、多くのRC様に参加して頂けて大変光栄でございます。しかし、RC様の多くの方にまだRACを認知して頂けていない状況もあるので今後も周知活動に邁進してまいります。



次ページへ

引き続き、青少年・ライラ委員会は、委員長3期目の富田林RC所属 橋本 竜也 君です。

今年度、青少年・ライラ委員会は 3月20日より2泊3日の行程でRYLA研修セミナーを実施する予定でしたが、皆様もご存じの通り 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、2月16日にセミナー中止を決定いたしました。開催、参加を楽しみにし、また既にエントリーをしていただいていたセミナー生やロータリアンの方々には大変申し訳なく思っております。その後、感染終息を前提として1日行程の屋外プログラムも計画をいたしました。これも終息どころかまだまだ拡大を続ける現状に無念ではありますが、4月上旬に中止を決定。RYLA委員会としては、今年度は研修セミナー形式のプログラムの企画運営を断念いたしました。

参加エントリーをしていただいていたセミナー生の方々に対して、当初のセミナーメインテーマである「生存、生き残る(君はサバイバルできるか)」に関する書物を委員会で選別し、進呈することといたしました。また、委員会組織、特にRYLAカウンセラーの意識向上や セミナー時に使用する備品などの整備に時間をかけ新型コロナウイルスの感染終息の宣言がされた時に、昨今の時代背景を教訓としたセミナーを企画したく思っております。

まだまだ感染拡大が止まらず、先が見えない状態が続いておりますが 皆様全員とともに感染終息の日を健康な心身で迎え、再び次のRYLA研修セミナーでお目にかかれることを楽しみにしております。

最後は、インターアクト委員会、委員長3期目高野山RC所属 近藤 本淳 君です。

1年間のインターアクト活動は年次大会から始まります。今年度は7月21日(日)10:30~15:00初芝立命館中学校高等学校にて行われた。年度開始にあたり、ロータリークラブ(以下RC)・インターアクトクラブ(以下IAC)の両者の関わりについて新入生を含むインターアクターが共通認識し、ロータリーとは?を次代を担うインターアクターに伝えた。また、各校持ち寄った中から選ばれた地区IAC年次ターゲットを共有することで、交流と貢献活動のスタートとした。午後は、SDGs 関西プラットホーム、JICA関西SDGsの協力を得てワークショップを通じ、交流・貢献活動の一例を学ぶことができました。

9月15日(日)10:30~15:00 IAC国際交流親睦会を精華高等学校にて開催。松原高校の発表を通じ、自らがどのような形で国際貢献ができるのかを考えるよいきっかけとなった。午後からは公益財団法人AFS日本協会のご支援をいただき、当初の予定を上回る17名の留学生の参加がありよい交流ができた。留学生もこうした機会ができて、とても喜んでいてAFSから連絡をいただきました。

10月20日(日)10:30~15:00IACリーダーシップフォーラムを高野山大学にて開催。午前中に、世界遺産高野山の中にある金剛峯寺をインターアクトOBに案内してもらい、そこで見学したことなどを参考に午後のワークショップを行いました。ワークショップは班別に別れ、愛知県にある中部国際空港の採用試験で行われている「おみやげ売り場」の配置を考えるプレゼンを行いました。各班様々な意見が出て有意義な活動となりました。

11月17日(日)13:00~15:30堺市立東文化会館にて海外研修(カンボジア)に向けてのオリエンテーションを行いました。1、有名なもの・場所 2、気候 3、お金について 4、基本会話 5、ホームステイ6、日本とのかかわり 7、食べ物について、各校分担して発表した。保護者の方にも参加いただき、プレゼン、旅行についての疑問、注意点などをお伝えしました。

12月25日~28日IAC海外研修『カンボジア国際理解の旅』では、カンボジア・シェムリアップの歴史や文化を学び、環境(ゴミ)問題について学ぶ目的



で出発。チアシムアンコール小学校にてレクチャーのあと小学生たちとゴミ拾い。その後は綱引き、縄跳び、折り紙で交流、文具贈呈。SHARE THE WINDによる就労支援活動の報告と、実際にキーホルダーを制作。各々ホームステイを終え、10January1979中・高校にて学校紹介の後日本のお祭り体験。最終日はアンコールワット、アンコールトムなどの遺跡視察後帰路につきました。

2月16日(日)10:30~15:00 IAC海外研修報告会を清風南海中学校高等学校にて開催。午前中は、記録映像の鑑賞(約40分)。昼食は、カンボジア料理店によるカレーをいただき、午後からは各校IACが予め担当していた行事の報告を、会場内に7か所ポスター形式にて掲示し、5人ぐらいのグループに順に対応し、計6回のプレゼンをする形式で報告を終了しました。

5月31日(日)開催予定のロータリーアクトクラブとの合同懇親会並びに、6月21日(日)予定されていたIAC新入生歓迎会は、新型コロナウイルス蔓延阻止のため、中止が決定した。

おしまいに、この度、コロナウイルスの影響で後半の事業がすべて中止になりましたが、青少年関連委員会は、青少年の育成に真剣に取り組んでいます。未来のロータリアンを育てるため、地区内のロータリアンのご理解、ご協力をお願いします。



世界のどこであろうと、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響を受けていない人は誰一人としていないようです。ワクチンがまだ存在しないウイルスのパンデミック(世界的大流行)に直面する今、ポリオ根絶活動をどのように続けたらよいのかと考えているロータリアンもいるでしょう。ひと昔前、世界はポリオウイルスによって同じような状況に直面していました。

新型コロナウイルスのパンデミックに対応するには、全世界の連帯、そして世界規模の緊急活動が必要とされます。既に数千人の従事者を有し、研究所と監視システムの大規模ネットワークを備えた世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は、各国での対応支援のためにこのリソースを活用できるようにする道徳的義務があります。

世界公共保健における結束がかつてないほど強まる中、ロータリアンが構築を支援してきたポリオ根絶のインフラが、多くの保健ニーズだけでなく、新型ウイルスへの対応と拡大抑止のために既に活用されています。ポリオ根絶の従事者と資産が重要な存在となっているナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンでは、GPEIパートナー団体の全スタッフが、監視、保健従事者の研修、感染経路の追跡にあたっています。また13カ国で、新型コロナウイルスの対応と対策のために、ポリオ根絶活動のボランティアが配置されています。

ロータリーは、新型コロナウイルスによる緊急事態がポリオ根絶プログラムの一部に影響を及ぼしていることを認識しています。現在直面する新たな課題に取り組むと同時に、最も重要なのは、すべての子どもに安全にポリオワクチンを投与できるよう、ポリオ根絶へのコミットメントを維持し、今年度のファンドレイジング目標である5000万ドルを集めることです。新型コロナウイルスの影響により、ポリオ根絶に対する注目が逸れることは理解しています。だからこそ、ポリオとの闘いに対してロータリアンが強いコミットメントを保ち、これまでの成果を水の泡としないことが何よりも重要です。

ロータリークラブが新型コロナウイルスとの闘いを支援

創造力と柔軟性で支援活動と人びとのつながりを維持

新型コロナウイルスの猛威により世界に不安と困難な状況が広がる中、ロータリー会員と参加者たちが画期的な方法で支援し、離れていても手を差し伸べる方法があることを示しています。

奉仕と行動を大切にするロータリー会員は、地域社会で率先してプロジェクトを立ち上げ、支援を必要とする人びとへの援助を行っています。しかし、多くの地域で生活が急変しており、保健専門家らは、人びとが互いの距離を空け、感染力の強いこのウイルスの拡大防止のために必要であれば自己隔離することを呼びかけています。

「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つです。これまでも会員は、適切な手洗いや感染予防法について啓発活動を行い、医療従事者への研修や医療機器を提供してきました。現在は、各地の保健当局による新型コロナウイルス情報の周知を援助し、パンデミック(世界的大流行)によって多大な負担を強いられている医療施設や病院に防護用品を寄贈するといった活動を行っています。

現在までに、以下のようなさまざまな方法で会員が地域社会を支援しています：

感染の被害が最も大きな国の一つであるイタリアでは、第2080地区内のクラブが寄付を募り、多くの患者をかかえる病院のために人工呼吸器と防護用品を購入しました。さらに、中国での流行が最悪となった際には、現地での感染拡大防止のため、同地区のクラブがマスク購入用に21,000ドル以上を集めました。

同じくイタリアの第2041地区はネットで寄付を募り、ミラノの催事場に建てられた400床の病院で新型コロナウイルス患者の治療にあたる医師や看護師のために、防護用品を購入しました。

香港では、ロータリークラブが資金を集めて医療品を購入し、公営住宅を訪問してマスクと殺菌剤を配りました。

スリランカのロータリークラブは、空港トイレに体温計を設置したほか、コロナウイルスに関する認識向上のポスターを作成して全国の学校に配りました。

パキスタンのカラチ・ダラクシャン・ロータリークラブは、数千枚のマスクを地元市民に配布しました。

第3700地区(韓国)内のクラブは、赤十字に155,000ドルを寄付しました。

ナイジェリア、アクワイボム州のロータリークラブは、ウイルスの恐ろしさを伝えるキャンペーンを実施。地元の2つの学校でコロナウイルスによる病気と予防法について指導したほか、健康維持のための衛生習慣に関する資料を配布しました。

米国(メリーランド州)のメロ・ベテスダ・ロータリーク

ラブは、各ボランティアが毎週、隔離状態にある一人暮らしの市民に連絡して状況を確認。必要なものがないかどうかを尋ねています。また、このような人びとの玄関先に花を届ける活動も行っています。

危機への対応にテクノロジーを活用

直接会う例会や行事を中止・延期したクラブと地区は、親睦を保つ独自の方法を見出し、奉仕活動に工夫を凝らすことでパンデミックに対応しています。

フェニーチェ・デル・トロント・ロータリーEクラブは、3月11日に行ったオンライン例会に一般の人びとを招待。ウイルス学者を講演者に招き、コロナウイルスの感染経路や予防方法に対する知識を広めました。

シンガポール・ロータリークラブはウェビナーを実施し、疫学者と感染症専門家を招いて、コロナウイルスとパンデミックに関する疑問や懸念に答えてもらいました。

イーストジェファーソン・カウンティ・ロータリークラブ(米国ワシントン州)は、クラウドファンディングを活用し、宅配サービスを行う地元の食料品店、薬局、レストランのオンラインリストを作りました

ヘレフォード(英国)のロータリーは、支援を必要とする人と、支援を提供できる人・団体をつなぐために、ロータリー会員や一般の人びとから成るフェイスブックのグループを立ち上げました。3月14日に開始して以来、6,900人以上がグループに参加しています。

ショウンバーグ・ホフマンエステイツ・ロータリークラブ(米国イリノイ州)は、予定されていた毎年恒例の募金行事の2日前に、この行事をフェイスブック上で実施することを決定。100品以上のオークションを行い、前年とほぼ同額の100,000ドル以上の募金に成功しました。行事でふるまう予定だった350人分の食べ物、地元の恵まれない人びとに届けられました。

シリコンバレー・ロータリーEクラブ(米国カリフォルニア州)は、他クラブの会員を招いてオンライン会議を開き、会員がつながりを維持するためのデジタルツール活用法を紹介しました。この会議を録画し、会員がいつでも閲覧・シェアできるようにしています。

第34ゾーン(米国の一部とカリブ海諸島)は、会員のつながりを守るためのオンラインツール活用ガイドを作成。カリビアン7020ロータリーEクラブは、ゾーン内のクラブがオンライン例会を実施できるよう援助しています。

この危機に対応するために皆さんのクラブは何を行っていますか？ハッシュタグ「#ロータリーによる対応」を使ってソーシャルメディアで活動をご紹介ください。または、ロータリーボイスの画面下にあるコメント欄で活動をご紹介ください。

国際ロータリー、国際キワニス、ライオンズクラブ国際協会、国際オブチミスト
新型コロナウイルスに対する合同声明



Kiwanis

Optimist
INTERNATIONAL

世界のほぼすべての地域社会に深く根ざしながら、国際キワニス、ライオンズクラブ国際協会、国際オブチミスト、国際ロータリーの奉仕クラブは、新型コロナウイルス(COVID-19)による影響に対応し、これを乗り越えるために、互いや市民とのつながりを維持すべく安全な方法で懸命に活動しています。私たちは、合わせて320万人に上る会員ネットワークの強みを生かし、孤独や恐れを感じている人びとに癒しと希望を与えています。また、私たちがもつスキル、リソース、アイデアを結集して、命を救うために前線で闘う保健従事者や第一対応者たちを支援しています。

先行きが見えない中で、各地域の奉仕クラブは、世界中の地域社会の回復と繁栄のために、共に行動を起こし、かつてないほどの団結を図る革新的な方法を見出すことに引き続き全力を注いでいます。

「新型コロナウイルスに対する世界的取り組みは、すべての国での行動にかかっています。今こそ、行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援を提供するときです」(2019-2020年度国際ロータリー会長、マーク・ダニエル・マローニー)

「これほどに規模が大きく重大なパンデミック(世界的大流行)では、世界中の市民が専門家の助言と警告に耳を傾ける必要があります。私たちのすべての会員とボランティアによる活動・計画を続行しなければなりません。危機の後には、政府や地方自治体による多くの社会・経済的課題への取り組みを支援するために、私たちが迅速に対応する必要があります。これらの課題は、危機が過ぎ去った後に必ずやってくるでしょう」(2019-2020年度国際オブチミスト会長、エイドリアン・エルコック)

「大きな課題は、私たちの力を試すと同時に、結束をもたらします。ライオンズは、安全に奉仕するための新しい方法を見出しています。ライオンズクラブ国際財団は、新型コロナウイルスの感染急増に直面する地域社会を救うために100万ドル以上の補助金を授与しており、さらに毎日のように補助金の申請が寄せられています。地域社会は奉仕クラブを頼りにしています。私たちは地域社会と寄り添いながら、これまでのように支援し、地域の発展に尽くしていきます」(2019-2020年度ライオンズ国際協会会長、ジュンヨル・チョイ)

「このような困難な時に、世界中で毎日のように勇敢な行為を目にします。自らの健康をリスクにさらして人びとのために仕事をする医療従事者や安全管理者たちの尽力を皆で称えようではありませんか。教師、スーパーの店員、宅配ドライバーなど、自宅にとどまることのできない職業に従事する無数の人たちに、キワニスファミリーから感謝申し上げます。友人や隣人の安全を守るために、私たち皆が重要な役割を果たします。世界保健機関(WHO)と地元保健当局の勧告、政府からの指示に従ってください。どうか安全にお過ごしください」(2019-2020年度国際キワニス会長、ダニエル・ビュニコ)

ロータリー財団 地区補助金の申請について

地区ロータリー財団委員長 初田 隆生

平素はロータリー財団へのご支援ご協力を賜り、お礼申し上げます。

本年度2月に開催を予定していましたが、「財団補助金管理セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止させていただきました。そのセミナーの内容はオンラインにて、MY ROTARYの「ラーニングセンター:補助金管理セミナー」から学んでいただけるようになっており、また当地区ホームページの「2019-2020年度 財団補助金申請ハンドブック」もあわせてご覧いただき、地区補助金の申請をお願い致します。

財団は新型コロナウイルス対応に配分することも奨励しています。1度限りの例外として、新型コロナウイルスと関連して、2020年3月15日以降に発生した費用を、2020-2021年度地区補助金で賄うことを認めています。

申請受付期間は例年同様、2020年5月1日から6月30日までとし、必要書類を当地区ガバナー事務所・ロータリー財団委員会宛てに、郵便局の簡易書留にて送付して下さい。

なお、今回の地区補助金申請は、2017-2018年度の各クラブでの年次基金寄付額と一人当たりの平均額に基づいての算定となります。

先日、各クラブにメール送信いたしました「[ロータリー財団補助金管理セミナーについて](#)」をご覧いただき、ご不明な点がございましたら、お問合せ下さい。

ロータリー財団日本チームからの要請文

ロータリーでは新型コロナウイルス(COVID-19)の状況をモニタリングしており、[ロータリーの運営、行事、研修セミナー等への影響](#)を引き続き注視しています。そして、私たちは新型コロナウイルスへの対応を支援し、その影響を受けている人びとを援助したいと思っています。そのようなロータリアンに対して、ロータリー財団は地元や海外で活用できるいくつかの選択肢を提供しています。私たち一人の力は大きくないかもしれませんが、世界中(121万1107人)のロータリアンが、その力を合わせれば世界を動かす原動力になると信じてやみません。日本中のロータリアン(8万9097人)の力を結集してこの難局を克服するために取り組む活動を、各地区ガバナー、地区財団委員長、地区ガバナーエレクトのリーダーシップの下に推進下さいますことを、我々ロータリー財団日本チームで要請させて頂きたく謹んでお願いを申し上げます。以下に幾つかのプランを紹介しました。

ロータリー財団の補助金の活用

地区補助金やグローバル補助金、ロータリー災害救援補助金を使ってCOVID-19への対応を支援できます。詳細は、別紙「[新型コロナウイルス対応のための補助金の使用について](#)」をご参照ください。

ロータリー災害救援基金

地区を通じて各ロータリークラブは、[ロータリー災害救援補助金](#)を申請できますが、この補助金は、皆様から寄せられるロータリー災害救援基金へのご寄付や地区財団活動資金(DDF)の寄贈から提供されます。皆様から多くのご支援が寄せられる一方で、現時点で、すべての申請に災害救援補助金を授与するだけの資金がありません。懸命に活動している世界中のロータリアンを支援するために、[災害救援基金へのご寄付](#)や[DDFの寄贈](#)もよろしく申し上げます。

例会がなくともご自宅から、クレジットカードで[災害救援基金](#)へ寄付できます。この寄付は、年次基金の目標や寄付ゼロクラブ、ポール・ハリス・フェローなどの認証の対象となります。地区のDDFにはなりません。直接、COVID-19への対応や災害救援活動を支援できます。また、[DDFの寄贈](#)については、COVID-19を指定できます。現在、人の移動や渡航は制限されており、現場で活動することは難しいかもしれません。それでもこの寄付を通じて、世界でパンデミックを引き起こしているCOVID-19への対応を支えることができます。

ポリオ根絶活動

このような状況下ですが、ロータリーの最優先事項である、ポリオ根絶にむけて活動も続けています。COVID-19による緊急事態がポリオ根絶プログラムの一部に影響を及ぼしていることを理解しています。しかし私たちはポリオ根絶へのコミットメントを維持し、すべての子どもにポリオワクチンを投与することも大事です。また、この活動を進めながら、COVID-19への対応も模索しています。ポリオ根絶活動の経験が、政府による新型コロナウイルス対策の支援に役立てられています。[新型コロナウイルスおよびポリオ根絶活動への影響に関するロータリーの声明](#)もご覧ください。

また、ジョン・ジャームEnd Polio Now:歴史をつくるカウントダウン・キャンペーン委員会委員長によりますと、現在のポリオプラス基金への寄付額は(目標額:5千万ドル)3千万ドルで1千9百万ドル不足しているとのことです。皆様のご協力により昨年も終盤で何とか目標額を達成できました。ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと、WF(国際財団活動資金)から同額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。前年度に比較して、現在ポリオプラス基金へのDDFの寄贈が少なく、今年も是非皆様のご支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス対応のための財団補助金の使用について

奉仕を大切にするロータリー会員は、世界でパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルスへの対応を支援し、その影響を受けている人びとを助けたいと感じています。ロータリー財団は、地元や海外の人びとを守り、助けるためにロータリアンが活用できるいくつかの選択肢を提供しています。



地区補助金

地区は地区補助金の資金を活用して、地元の医療従事者に寄贈する物資(体温計、医療用防具、その他の物資)の購入といった地元の活動を支援できます。地区はさらに、未完了の地区補助金からの臨時費を利用したり、以前に計画していた活動を新型コロナウイルス対応のために使うこともできます。

2020-21年度の新しい地区補助金申請書を提出する準備を地区で進めていると思いますが、資金を新型コロナウイルス対応に配分することを財団は奨励しております。1度限りの例外として、財団は、新型コロナウイルスと関連して2020年3月15日以降に発生した費用を、2020-21年度地区補助金を通じて賄うことを認めます。

災害救援補助金およびロータリー災害救援基金

ロータリーの災害救援補助金は、地元での災害に対応するための迅速かつ効果的な方法です。ロータリー財団は最近、これらの補助金の使用が認められる活動のリストに、新型コロナウイルス関連プロジェクトを追加しました。各地区は、新型コロナウイルスへの対応を目的として、25,000ドルを上限として1口の補助金を申請できます(ただし基金の残額状況に基づきます)。

災害救援補助金は、災害に対応する世界中の地区を支援するため、ロータリー災害救援基金への寄付によって賄われています。この基金へのご寄付は、オンライン寄付とDDFで受け付けています。地区は、災害救援基金に寄贈するDDFを、新型コロナウイルス対応の補助金活動だけのために使用するよう指定することができます。現金寄付は、新型コロナウイルスを含む、災害対応全般のために活用されます。

グローバル補助金

グローバル補助金は、地域社会に変化をもたらすための優れた方法です。新型コロナウイルスに効果的に対応するために医療物資が必要とされている場合、グローバル補助金でそれらの購入を援助できます。財団は、新型コロナウイルスに取り組むための新規のグローバル補助金について、実施国外からの資金を30%とする要件を適用し

ないこととなりました。これらの補助金の場合も実施国と援助国の双方の提唱者が必要となることにご留意ください。

ご質問は地域別補助金担当職員にお問い合わせください。

『意義ある奉仕賞』推薦のお願い

今年度も「意義ある奉仕賞」にご推薦いただきますよう、お知らせを申し上げます。

『意義ある奉仕賞』は地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。各クラブによって実施された1つのプロジェクトのみ、本賞の受賞対象となります。各クラブ会長の皆様より、1つのプロジェクトを地区ガバナーに推薦頂きたくお願い申し上げます。当地区では、上限を3クラブとし、受賞クラブを決定致します。

皆様から多数の推薦をお待ちしております。

【推薦要件】

- クラブが地域社会の重要な課題やニーズに取り組む社会奉仕活動
- 財政支援にとどまらず、多くのクラブ会員が直接参加した活動
- 地域社会にロータリーの公共イメージを向上させる活動
- 他のロータリークラブの活動の模範となる活動
- 国際的な活動も含めた活動
- 今年度実施した活動(活動の開始/完了年度が今年度でなくてもよい)
- 1クラブ1申請に限る
- 以前に「意義ある奉仕賞」を受賞しているプロジェクトは、本賞の対象とはなりません。

【推薦方法】

手順 ①

各クラブからMy ROTARYよりオンラインでの推薦となります。

My ROTARY → 会員コーナー → 各種賞・表彰 →

意義ある奉仕賞のオンラインフォーム

https://rotary.qualtrics.com/jfe/form/SV_55CFSyWTWCwhQIn

手順 ②

My ROTARYより推薦が完了しましたら、活動中のお写真3枚をガバナー事務所へ

(nakano@rid2640g.com)メールにて送付をお願い致します。

*注意点

•オンラインフォームで、地区ガバナーのメールアドレスを記入する箇所があります。
nakano@rid2640g.com を必ずご記入ください。

【締 切】

2020年5月31日 ガバナー事務所あて

ロータリーの友事務所からのお知らせ

新型コロナウイルスの影響で以下の対応をお願いします。

「ロータリーの友」5・6月合併号について

- ① 合併号となりますので、4月末にお届けする5月号はお送りできません。
また、電子版も合併号となり遅れることとなります。
- ② 6月第1～2週には全国のクラブへお届けすべく、関係機関との調整を続けております。
ご協力をお願いします。
- ③ 合併号をもって5月、6月号の購読とし1冊400円とさせていただきます。
- ④ 5月、6月に入会された方におかれましては、5・6月合併号をご購読いただき、同様のご負担をお願いいたします。

友事務所運営について

基本的に友事務所職員は在宅勤務としています。期間は緊急事態宣言が有効な期間としますので、現在は5月6日としますが、政府の要請を受け、期間設定を判断することをご了承ください。

問合せ等について

編集部および管理部に対する問合せは、メールにて対応いたします。

- ①編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp

※記事の投稿等はウェブサイトの投稿フォームも併せて活用ください。

- ②管理部 keiri@rotary-no-tomo.jp

※『友』、広報誌等のお申込み、クラブの『友』送付先変更等も、ウェブサイトから連絡が可能です。併せて活用ください。

なお、今後の状況の変化により、ご連絡やご案内が大幅に遅れる場合も想定されます。その際は、ご了承ください。



一般社団法人ロータリーの友事務所
所長 渡辺 誠二

地区活動報告

第5回ガバナー補佐・幹事予定者合同会議

ガバナーエレクト 藤井 秀香

2020年4月4日(土)、ガバナーエレクト事務所で第5回ガバナー補佐・幹事予定者合同会議を開き、以下のことを報告、協議しました。

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大について、地区の対応</p> <p>(2) クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)について
資料配布、DVD視聴、オンライン配信(YouTube・ZOOMなど)</p> <p>(3) ガバナー公式訪問について
・合同形式採用について お伺いを送信(10RC)
・公式訪問予定表(案訂正版)
・周年行事等クラブ行事の再確認の件</p> <p>(4) 地区研修・協議会について
・6/28に延期(時間配分については現時点で変更なし)
・部門別協議会の開催について
・株式会社オクトン『出店販売許可願』の件</p> <p>(5) ローターアクト委員会 委員選出の件</p> <p>(6) RIより報告されていない地区内クラブ役員について</p> <p>(7) 次期委員会活動状況
①研修委員会
2019. 8.30 第1回研修委員会開催
2019.12.1 ガバナー補佐研修会開催
②地区戦略計画委員会
2020. 3.14(土) 第1回地区戦略計画委員会開催</p> | <p>③IT・ガバナー月信委員会
検討) 新年度版WEBサイトおよび第1回DG月信制作スケジュール</p> <p>④会員増強・維持/女性活躍・推進委員会
2020.8.1(土) 会員基盤研修セミナー(和歌山JA会館13:00~)</p> <p>⑤RLI委員会
2020.3.14(土) 第1回RLI委員会開催
開催場所、講師など、検討
DL研修予定 2021/1.24、2.23
RLI研修予定 2021/3.21、4.11、5.16
(和歌山県民文化会館9:00~)</p> <p>⑥職業奉仕委員会
2020.11.21(土) クラブ職業奉仕委員長会議予定13:00~</p> <p>⑦地域社会奉仕委員会
2020.3.9 第1回地域社会奉仕委員会開催
2020.9.27(日) クラブ地域社会奉仕委員長会議予定13:00~</p> <p>◎報告事項、今後のスケジュールについて
・第6回ガバナー補佐・幹事合同会議
2020年5月9日(土) 14:00~16:00
けやきONE 301号室 ガバナー事務所</p> |
|---|--|



クラブ活動報告

新型コロナウイルスの影響で血液不足、献血活動

田辺はまゆうロータリークラブ

田辺はまゆうロータリークラブ(会長 山本 康夫)は、10年後20年後の献血者確保の為に、今から若い世代の献血協力者を発掘することが大切と考え、「平成生まれの献血キャンペーン」を11月と3月に2回行いました。

SNSや新聞広告を通じて、会員はもちろん会員以外の方々に拡散、宣伝して頂き、1回目、2回目とも多くの方々にご協力して頂きました。

2回目の3月1日の時は、新型コロナウイルス感染症の影響でご協力して頂ける方が今は少ないのですと、献血センターの方も心配されておられましたが、多くの方々にご協力して頂きました。

特に3月1日の時には平成生まれの方々にも大変多くご協力して頂きました。献血センターの方も本当に驚いておられました。

意義のある2回の献血活動を行うことができました。



2020年 3月 1日

献血状況報告書

本日の献血状況を下記のとおりご報告致します。

ご多忙のところ献血にご協力いただきまして誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

今後ともより一層のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

献血日	区分	受付者数	献血者数	不献血者数
3月1日	200mL	5名	2名	3名
	400mL	88名	78名	10名
合計		93名	80名	13名

*お支払いの点がございましたらお知らせ下さいますようお願い致します。

和歌山県赤十字血液センター
紀南出張所 TEL 0739-33-9924
FAX 0739-33-9934





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 241
2020年4月14日
発行

1. 新型コロナ感染拡大の中で迎える新学年度

4月から新学年度が始まりました。
4月7日、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、当会では翌8日付で、2020学年度の新規奨学生および継続奨学生に対し、「挨拶ならびに大切なお知らせ」として、現在の状況説明、今後守るべき諸注意事項などをホームページに掲載すると共に、各人にメールで送信しました。
例年、4月に各地区で開催される米山奨学生のオリエンテーションについては、4月13日現在、中止が16地区、延期が11地区となってお



第2770地区では窓を開放し4回に分けて開催

り、開催する場合も分散して小規模にと、「3密」を避けての実施が徹底されています。
オリエンテーションは、新しくロータリーファミリーの一員となった米山奨学生を歓迎すると同時に、米山奨学生としての責務を確認してもらう重要な機会ですが、感染拡大防止を第一にさまざまな形を工夫し、各地区、世話クラブで奨学生へのケアにご尽力ただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。平時とは異なるスタートですが、新学年度の米山奨学生をどうぞよろしくお願いいたします。

2. 自宅でできる奉仕活動を — タイ米山学友会 —

タイ国内において新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、タイ米山学友会では3月27日に募金活動を開始。会員からの寄付金と学友会からの資金を合わせた50,000バーツ（約16万6千円相当）をタマサート大学病院へ送り、医療機器購入費に充ててもらったこととしました。

首都バンコクでは、3月22日から食品や生活必需品の販売以外のすべての店舗を休業させ



るなど、厳しい措置を導入して警戒を強めています。こうした状況下、同学友会では「外出しなくても出来るプロジェクト」を模索していたと言います。ワシン・テイシャチャイニラン会長（2011-12/東京清瀬RC）は、「学友会としてできることを、これからも絶対にやり遂げていきます。皆で力を合わせて、この困難を乗り越えましょう」と、力強く述べました。

3. 寄付金速報 — 新型コロナの影響続く —

3月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金：2.3%減、特別寄付金：4.5%減）、約4,500万円の減少となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、先月よりも更に減少幅が広がる結果となりました。収束の見通しが立たない中、少なくともゴールド

ンウィーク明けまでは引き続き厳しい状態が続くと思われます。
ロータリアンの皆さまも、事業や暮らしのうえでさまざまな不便を強いられている日々と存じます。皆さまのご健康と、一日も早い事態の収束をお祈り申し上げます。

4. Web 感謝祭に反響多数！ — 関西米山学友会 —

第2660地区（大阪府）の関西米山学友会では、毎年3月に「米山感謝祭」を開催し、現役米山奨学生がお世話になったロータリアンへ感謝の気持ちを届ける場としています。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染が広がり、地区の行事が相次いで中止となる事態に。そこで同学友会は知恵を出し合い、インターネット上で感謝祭を開催することを決定しました。

ロータリアンに向けた奨学生のリレーメッセージ、ガバナーや地区米山奨学委員長からの祝辞など、急ピッチで動画を作り上げ、本来集まるはずだった3月8日18時に配信を開始。参加予定だったロータリアンや奨学生・学友たちは、この動画を見ながら1年間を振り返りました。同学友会のアリフ・ザイニ会長（2013-15 / 大阪城東RC）は、「配信後、たくさんの人



から感動の声をいただいて、本当にやってよかったと思いました。今後も、私たち米山学友会は何があろうとも、動じずに、前向きに進みたいと思います」と、語ってくださいました。

▼米山 Web 感謝祭（短縮版、約10分）

<https://youtu.be/WfKPwHDQ3oQ>

5. ミャンマー米山学友会が総会を開催

ミャンマー米山学友会の総会が3月21日、ヤンゴン市で開催され、同市在住の学友8人のほか、マンダレーや日本からも学友が駆けつけ、計13人の学友と家族2人が参加しました。開催にあたって当初、『ロータリアンの友』1月号で告知をするなど、日本から多くのロータリアンに来ていただきたいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、今回は学友のみでの開催となりました。

理事会ミーティングのあと、事前に実施されたアンケート結果に基づき、学友会規則の改



編、田中作次奨学基金の管理方法やミャンマー政府への学友会登録について話し合われました。また、今後の新たな活動として、被災地支援事業、日本のロータリアンが実施するミャンマーの子どもたちの健康診断への協力、衛星クラブの設立※1を予定しており、それら

の準備会を立ち上げ、総会を終えました。

※1 4月2日付で「Rotary Satellite Club of Central Yangon, Endeavour Myanmar」の設立が承認されました。創立会員は9人、うち8人が米山学友です。

在宅勤務のお知らせ

当会事務局では、新型コロナウイルス感染拡大リスクの最小化を目的に、原則として在宅勤務（テレワーク）を実施しています。関係各位には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【実施期間】4月3日（金）～4月17日（金）予定 ※状況により期間延長の検討をいたします。

【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会HPまで。

「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曾有のパンデミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が多いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合っつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けましょう。その際にはロータリーのウェブサイトで、オンライン例会を開催するためのヒントやガイダンスをご覧ください。

日常生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報・・・心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

第2地域ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一（東京葛飾東RC）

新会員の紹介 (2020年3月)

	クラブ名	和歌山ロータリークラブ		クラブ名	富田林ロータリークラブ
	氏名	ひらた けいいち 平田 圭一		氏名	すぎた やすあき 杉多 保昭
	職業分類	観光事業		職業分類	職業紹介・派遣事業
	生年月日	1969年8月1日		生年月日	1963年8月20日
	入会年月日	2020年3月10日		入会年月日	2020年3月12日
	クラブ名	御坊南ロータリークラブ		クラブ名	御坊南ロータリークラブ
	氏名	さくもり しんいち 作森 信一		氏名	はまぐち あきと 濱口 顕人
	職業分類	ゴルフ場		職業分類	ゴルフコース コンサルティング
	生年月日	1959年10月22日		生年月日	1958年7月3日
	入会年月日	2020年3月3日		入会年月日	2020年3月3日
	クラブ名	岸和田東ロータリークラブ		クラブ名	羽衣ロータリークラブ
	氏名	おだ かずのり 小田 一法		氏名	まつもと ひろあき 松本 博亮
	職業分類	結婚式場		職業分類	訪問鍼灸
	生年月日	1951年10月31日		生年月日	1988年9月29日
	入会年月日	2020年3月6日		入会年月日	2020年3月1日

ロータリーへようこそ!

多様な会員が
集まるクラブに 

四つのテスト

言行はこれに照らして

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

奉仕と友情の輪を広げよう

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する120万人の会員から成る世界的ネットワーク、ロータリーへようこそ!

ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオ(急性灰白髄炎)を世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。

交流を通じてアイデアを広げ、社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわたる友情を築く。それが、ロータリーのコミュニティです。クラブ、地区、国際ロータリーのリソースを最大限に活用し、積極的に参加してください。



ロータリーを体験し 可能性を発見しよう

クラブとつながる

地域とつながる

世界とつながる

まずは行動しよう

第2640地区 会員数報告(2020年3月)

クラブ名	会員数		入会		退会		クラブ名	会員数		入会		退会	
	19.7.1	20.3月末	3月	累計	3月	累計		19.7.1	20.3月末	3月	累計	3月	累計
串本	14	14		1		1	松原	16	15		1	1	2
那智勝浦	13	13		0		0	松原中	30	32		2		0
新宮	48	47		2	2	3	美原	7	6		0	1	1
白浜	12	12		0		0	大阪狭山	11	11		0		0
田辺	85	85		2		2	太子	16	17		3		0
田辺東	43	42		1		1	富田林	35	39	1	5	1	1
田辺はまゆう	31	29		3		5	ワールド大阪ロータリーEクラブ	34	37		4		1
有田	29	30		2		1	泉佐野	24	21		1	2	4
有田南	27	28		1		0	貝塚	17	17		0		0
有田2000	16	17		1		0	貝塚コスモス	12	11		0	1	1
御坊	42	42		2	2	2	関西国際空港	19	19		2	2	2
御坊東	13	14		1		0	岸和田	36	35		1		2
御坊南	23	25	2	3	1	1	岸和田東	45	45	1	1		1
海南	14	12		0		2	岸和田南	11	11		0		0
海南東	43	43		2		0	KUMATORI 向日葵	9	9		0		0
海南西	18	18		0		0	りんくう泉佐野	16	17		1		0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	10	12		2		0	羽衣	15	16	1	1		0
和歌山	69	74	1	7	1	2	和泉	26	27		1		0
和歌山アゼリア	33	34		2		1	泉大津	41	42		1		0
和歌山東	38	43		5		0	和泉南	45	49		4		0
和歌山城南	44	46		3		1	大阪金剛	14	15		1		0
和歌山中	26	26		3	1	3	高石	28	30		2		0
和歌山北	38	37		3		1	高師浜	9	9		0		0
和歌山南	76	81		6		1	堺	53	51		4	3	6
和歌山東南	41	40		0		1	堺東	27	26		0	1	1
和歌山西	11	11		1		1	堺フラワー	4	4		2		2
橋本	49	46		2	1	5	堺泉ヶ丘	21	21		0		0
岩出	29	28		0		1	堺中	20	19		0		1
河内長野高野街道	15	16		1		0	堺北	30	29		0		1
粉河	15	16		1		1	堺おおいずみ	28	26		1		3
高野山	19	20		1		0	堺フェニックス	44	41		0		3
羽曳野	13	13		0		0	堺清陵	24	26		2		0
河内長野	15	17		2		0	堺南	9	9		0		0
河内長野東	19	20		2		1	堺東南	7	7		0		0

クラブ	2019年7月1日 会員数				20.3月末会員数				入会		退会	
	男性	1,653	女性	161	男性	1,678	女性	162	20.3月	累計	20.3月	累計
68	1,814				1,840				6	102	20	69

2019-2020 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2020年4月26日現在]



2640地区	会員数	登録人数	登録率
2020年4月26日	1,835	624	34.01%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	14	1	7.1%
那智勝浦	13	3	23.1%
新宮	47	8	17.0%
白浜	12	7	58.3%
田辺	85	50	58.8%
田辺東	43	10	23.3%
田辺はまゆう	29	11	37.9%
分区計	243	90	32.2%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	12	10	83.3%
和歌山	73	41	56.2%
和歌山アゼリア	34	8	23.5%
和歌山東	43	30	69.8%
和歌山城南	46	10	21.7%
和歌山中	26	5	19.2%
和歌山北	37	3	8.1%
和歌山南	81	15	18.5%
和歌山東南	39	8	20.5%
和歌山西	11	1	9.1%
分区計	402	131	33.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	13	3	23.1%
河内長野	17	7	41.2%
河内長野東	20	2	10.0%
松原	15	7	46.7%
松原中	32	7	21.9%
美原	6	1	16.7%
大阪狭山	10	7	70.0%
太子	17	10	58.8%
富田林	39	9	23.1%
分区計	169	53	34.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	16	10	62.5%
和泉	27	4	14.8%
泉大津	42	9	21.4%
和泉南	49	6	12.2%
大阪金剛	15	8	53.3%
高石	30	12	40.0%
高師浜	9	7	77.8%
分区計	188	56	40.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	29	15	51.7%
有田南	28	3	10.7%
有田2000	17	12	70.6%
御坊	42	13	31.0%
御坊東	14	2	14.3%
御坊南	25	2	8.0%
海南	12	2	16.7%
海南東	43	33	76.7%
海南西	18	0	0%
分区計	228	82	31.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	46	5	10.9%
岩出	28	8	28.6%
河内長野高野街道	16	7	43.8%
粉河	16	9	56.3%
高野山	20	6	30.0%
分区計	126	35	33.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロー タリーEクラブ	35	15	42.9%
泉佐野	21	10	47.6%
貝塚	17	17	100.0%
貝塚コスモス	11	6	54.5%
関西国際空港	19	3	15.8%
岸和田	35	7	20.0%
岸和田東	45	25	55.6%
岸和田南	11	1	9.1%
KUMATORI向日葵	9	4	44.4%
りんくう泉佐野	17	5	29.4%
分区計	220	93	41.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	51	12	23.5%
堺東	26	14	53.8%
堺フラワー	4	0	0.0%
堺泉ヶ丘	21	6	28.6%
堺中	19	2	10.5%
堺北	29	9	31.0%
堺おおいずみ	26	6	23.1%
堺フェニックス	41	8	19.5%
堺清陵	26	24	92.3%
堺南	9	0	0.0%
堺東南	7	3	42.9%
分区計	259	84	29.6%

My Rotary のアカウント登録をお願いします！

地区では、登録率 50%UP を目標にしています。皆様のご協力をお願いします。

5月の行事予定表

日付	変更	行事	場所
7日(木)	中止	第6回ローターアウト委員会	方違神社
9日(土)	中止	第11回ガバナー補佐・幹事合同会議10:00	ガバナー事務所 (けやきONE4階会議室)
16日(土)	中止	RIJYEM日本青少年交換研究会・山形会議	天童市(山形)
23日(土)	中止	①PETS 代替研修 (予定)	
23日(土) 24日(日)	延期	米山奨学生 第1回卓話研修会	T & Y日本語学校
23日~24日(日)	中止	2019-2020年度長期受入学生・広島研修	広島
24日(日)	中止	ローターアウト地区年次大会13:00~	堺能楽会館
31日(日)	中止	青少年交流(RAC・IAC交流会)10:30~	未定

ガバナー月信への寄稿お願い

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様の寄稿、ご協力をお願いします。

具体的には、記念事業や特別例会、クラブ奉仕活動、親睦活動(家族会、親睦旅行、同好会等)や会員増強等、職業奉仕(講演会、講習会、視察等)、社会奉仕(清掃活動、福祉・教育支援事業等)、国際奉仕(友好クラブとの交流、各社会奉仕プロジェクト)、青少年奉仕(青少年交換、インターアクト、ローターアウト、ライラ等)、そのほか、ロータリー財団、米山記念奨学会等の活動などの案内、募集、報告等の寄稿をお願いします。

また、ご提供いただける情報は、文書面、資料、写真をFAX、封書等又はメールでガバナー事務所へご送付ください。

月信では、引き続き、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。

ご協力、よろしく申し上げます。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの密を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所 アクセス



JR和歌山駅西口から徒歩7分 阪和道、和歌山インターから約10分

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331 和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640 FAX (073) 426-2660
E-Mail: nakano@rid2640g.com